

第2学年3組 学級活動指導案

平成25年7月2日(火) 第5限 2の3教室 指導者 山田 和幹

1 議題 合唱コンクールに向けての目標を立てよう

2 生徒の実態と議題選定の理由

新年度がスタートしてからおよそ1ヶ月が過ぎた5月中旬、学級全体や一人一人の生徒の様子がわかってきたところで、級訓決めをスタートさせた。はじめに、「学級の良いところと直したいところ」と題して話し合いの場を設けた。良い面に関しては、授業中に積極的に発言できる(郁也・珠玖)、自分の係以外でも積極的に手伝うことができる子もいる(楓也・渉・友里菜・桃・理緒)などの意見が出た。その一方、直したい面に関しては、授業中の集中力に欠ける(暁路・泰・千尋・成海・紀早・杏奈)、忘れ物が多い(ことみ・彩香・友菜・南美)、気持ちの切り替えが遅い(孔友・翔・涼太・寛大・祐里奈)などの意見が出た。次に、「どのような学級にしたいか」と題した話し合いを設定すると、一人一人が各自の言葉で思いを発表した。それを受け、学級の良さをさらに伸ばし、直したいところを改善するためにも、学級としての大切にしたい思いを「責任感」「緊張感」「一体感」の3つにまとめた。そして、それらを3つの柱として、級訓を「三感」と掲げるようになった。

本学級生徒は、授業中に積極的に自分の意見を発表したり、仲間の呼びかけに対して「はい」と大きな声で返事をしたりすることができる生徒が多くいる。しかし、その意見が仲間の立場や思いを理解した上でのもではなかったり、その返事が行動として表されなかったりする場面を多く目にする。毎日の朝の会で、学級役員が前日の反省から、その日の目標や意識を持たせたいことなどを学級の仲間に伝えている。学級役員が頻繁に伝えてきているのは、始業前の着席完了のことであったり、メリハリのある授業態度についてであったりする。しかし、毎授業前と言ってよいほど「早く席に座って」と誰かが呼びかけないと着席が完了できなかったり、授業中にも「静かにして」という声を頻繁に耳にしたりする。6月には、ベルマーク委員会主催の「ベルマークコンクール」が行われた。毎日のようにベルマーク委員一人一人が40枚以上集め、全員で参加しようと呼びかけてきたにもかかわらず、回収期間を終えると1枚も提出できない生徒が数名いた。また週に2度行われている学習コンクールにおいても、全員で満点合格をしようという学級役員からの呼びかけがあるにもかかわらず、これまでに1度もその目標を達成したことがない。このように、本学級生徒には、協力性の乏しさや仲間からの働きかけに応じようとする意識の低さを感じる。

そんな中、本年度の合唱コンクールの候補曲が発表された。そこで、曲決めをする前に、合唱に対する意識及び、昨年度の各学級での合唱コンクールに対する取り組みについてのアンケートを行った。『あなたは合唱が好きですか』という質問に対し、「好き」と答えた生徒は15人、「どちらかと言えば好き」が12人、「普通」が3人、「どちらかと言えば嫌い」が5人、「嫌い」が2人という結果になった。7割近くの生徒が好きの部類に入る一方で、2割弱の生徒が嫌いの部類に属していることがわかった。この結果や4月からの本学級の様子からすると、このまま合唱コンクールに向けての取り組みを始めると、協力できず、互いに不快感ばかりが募るのではないかと考えた。そこで、こうした意識レベルの違いがある生徒が歩みをそろえて合唱コンクールに向かっていくためには、互いの言い分を理解し合った上で目標を立てることが必要であると考えた。目標を設定する際には、級訓に立ち戻らせることで自分たちが大切にしようと考えた「責任感」「緊張感」「一体感」の3つの柱を再確認させたい。それによって学級で力を合わせて取り組んでほしいと願い、本議題を設定した。

本時は、合唱コンクールに向けての目標について話し合う。昨年パートリーダーを務めた生徒の気持ち、合唱が苦手な生徒の気持ち、合唱が大好きでたくさん練習をしたい生徒の気持ち、昨年合唱を通して感動や達成感を味わった生徒の気持ち、いろいろな立場の人の気持ちを考えながら学級としての目標を考えさせる。学級の目標を一つにまとめる際には、級訓である「三感」、そしてその3つの柱である「責任感」「緊張感」「一体感」を意識させたい。今回の学級会を通して、生徒がいろいろな思いをもった仲間のことを考えて行動する思いやりをもち、みんなで級訓に向かって協力してがんばることができるようになってほしいと願っている。

3 本時の活動

(1) 目標

- ・互いの立場と思いを理解し、合唱コンクールに向け、級訓を土台とした学級の目標を立てることができる。
- ・決定した学級目標を受けて自己決定することができる。

(2) 準備 生徒 ワークシート

教師 昨年度の合唱コンクールの映像、話す技カード、振り返りカード
ラミネーター、ラミネートシール、ミニホワイトボード、習字道具

(3) 展 開

段階	生徒の活動	かかわりあいの手だて ※評価
つかむ (5)	<p>1 はじめの言葉(議長)</p> <p>先日、合唱コンクールの候補曲が発表されました。そこで、今日は3組の曲を決める前に学級としての目標(スローガン)を決めたいと思います。</p> <p>2 話し合いの流れの説明(計時係)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の話し合いの流れを把握する。 	<p>○生徒の問題意識を高めるために、事前に生徒の意識を把握し、考えをワークシートに書かせる。</p> <p>○昨年度の合唱コンクールの映像を見せ、生徒の意識を高める。</p> <p>○生徒のワークシートを事前に確認し、朱書きを入れて支援する。</p>
かかわりあう (35)	<p>3 昨年の経験も踏まえ、合唱について思うことを出し合う。(プラスなイメージ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習して最後にみんなの歌声が一つになると気持ち良い。 ・みんなで協力して心を通じ合わせることができる。 ・仲間との絆を感じ取ることができる。 ・合唱で思いを伝えることができる。 <p>(マイナスなイメージ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上手に歌えないから好きではない。 ・毎放課練習するのが面倒くさい。 ・高い声が出せない。 ・音がとれず、みんなに迷惑をかけてしまう。 <p>4 今年、2年3組としてどんな合唱コンクールにしたいか意見を出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しく歌いたい。 ・優勝をねらいたい。 ・合唱に苦手意識を持っている子も楽しく取り組める合唱。 ・毎放課練習するのではなく、時間を決めて練習する。 <p>5 4人グループにわかれて合唱コンクールに向けての目標(スローガン)を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優勝。 ・達成感を感じられる合唱にしよう。 ・一体感を味わうことができる合唱にしよう。 ・結果発表を聞いて涙が出るくらいの合唱。 ・三感を全員が感じ取った上での優勝。 	<p>○話し合いを円滑に進められるように、議長、副議長、記録係、黒板板書係を事前に決め、打ち合わせをしておく。</p> <p>○ワークシートに「話す技」を載せ、発言する際に意識を持たせた上でかかわり合わせる。</p> <p>○プラスなイメージとマイナスなイメージがわかり易くまとめられた板書となるよう黒板板書係に事前に伝えておく。</p> <p>○マイナスなイメージを持つ生徒の本音が意見として出るよう、事前に働きかけをしておく。</p> <p>○話し合いの方向がねらいからそれた時は、議長にメモを渡して方向を正すよう促す。</p> <p>○合唱が苦手な生徒の気持ちを考慮に入れた意見が出るよう促す。</p> <p>○さまざまな意見が出てまとまりそうもないところで、級訓に立ち戻らせるような働きかけをする。</p> <p>※仲間の様々な思いをくみ取った上で級訓に立ち返った意見を出し、学級目標を立てることができたか。</p>
まとめる (5)	<p>6 決議と自己決定をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の話し合いから決定された内容を確認し、自己決定する。(議長)「今日の話し合いで決定したスローガンは〇〇です。」 「学級としてのスローガンを受けて、個人の目標を立てましょう。」 ・学級の仲間が書いた個人目標を聞き、思いを共有する。 ・自己決定カードを受け取り、個人目標を記入し、ラミネートしたカードを机上に張る。 <p>7 教師の話聞き、閉会宣言をする。</p>	<p>○決定した学級目標を書き出し提示する。</p> <p>○合唱に対してマイナスなイメージをもっていた生徒の前向きな自己決定を紹介する。</p> <p>○自己決定カードを机上に張らせることで常に意識を持たせる。</p> <p>※一人一人が目標をもって合唱コンクールに向かえるような、自己決定をすることができたか。</p>

(4) 評 価

合唱に対して学級の仲間がさまざまな思いをもっていることを理解した上で、級訓に立ち戻り、学級として心を合わせて前向きに取り組もうとする目標づくりに参加し、自分の目標を決定することができたか。

(5) 本時の視点

合唱に対して苦手意識をもつ生徒を考慮に入れた意見が出るよう議長(教師の出も含む)が促したことは、苦手意識をもつ生徒が苦手ながらも前向きに取り組んでいこうと自己決定するために有効であったか。

(6) 事後指導

- ・全体で決めたスローガン(目標)を大きめな紙に書いて教室に掲示することで意識をもたせる。
- ・自己決定に対する個人の振り返りができるようなワークシートを準備する。